



# セグメントルーティングでの出力ピアエンジニアリング

- [BGP プレフィックス SID \(1 ページ\)](#)
- [隣接 SID \(1 ページ\)](#)
- [セグメントルーティングのための高可用性 \(2 ページ\)](#)
- [セグメントルーティングを使用した BGP 出力ピアエンジニアリングの概要 \(2 ページ\)](#)
- [BGP 出力ピアエンジニアリングのガイドラインと制限事項 \(4 ページ\)](#)
- [BGP を使用したネイバー出力ピアエンジニアリングの設定 \(4 ページ\)](#)
- [出力ピアエンジニアリングの設定例 \(6 ページ\)](#)
- [BGP リンクステートアドレスファミリの設定 \(8 ページ\)](#)
- [BGP プレフィックス SID の展開例 \(9 ページ\)](#)

## BGP プレフィックス SID

セグメントルーティングをサポートするためには、BGP が BGP プレフィックスのセグメント ID (SID) をアドバタイズできなければなりません。BGP プレフィックス SID は常にセグメントルーティング BGP ドメイン内でグローバルであり、命令を識別し、BGP によって計算された ECMP 対応のベストパスを介して、パケットを関連するプレフィックスに転送します。BGP プレフィックス SID は、BGP プレフィックスセグメントを識別します。

## 隣接 SID

隣接関係セグメント識別子 (SID) は、特定のインターフェイスとそのインターフェイスからの次のホップを指す、ローカルラベルです。隣接関係 SID を有効にするために必要な特定の設定はありません。アドレスファミリの BGP を介してセグメントルーティングが有効になると、BGP が実行されるすべてのインターフェイスに対して、アドレスファミリがそのインターフェイスのすべてのネイバーに対して隣接 SID を自動的に割り当てます。

## セグメントルーティングのための高可用性

インサービスソフトウェアアップグレード (ISSU) は、BGP グレースフルリスタートで最低限サポートされます。すべての状態（セグメントルーティング状態を含む）は、BGP ルータのピアから再学習する必要があります。グレースフルリスタート期間中、以前に学習したルートとラベルの状態は保持されます。

## セグメントルーティングを使用した BGP 出力ピアエンジニアリングの概要

Cisco Nexus 9000 シリーズスイッチは、多くの場合、大規模データセンター (MSDC) に導入されます。このような環境では、セグメントルーティング (SR) で BGP 出力ピアエンジニアリング (EPE) をサポートすることが要件となります。

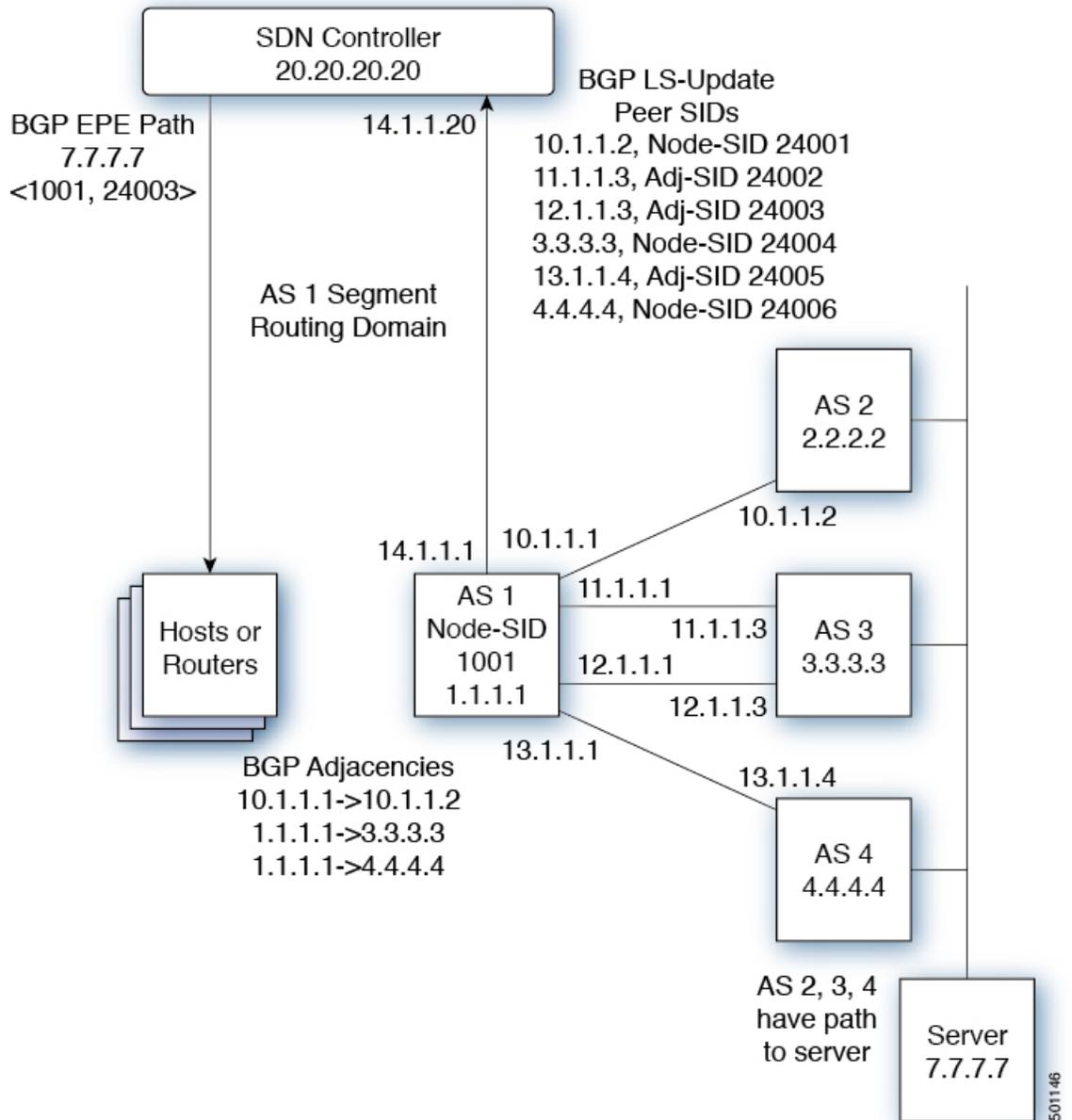
セグメントルーティング (SR) はソースルーティングを利用します。ノードは、制御された一連の命令 (セグメント) によってパケットを操作するために、パケットの前に SR ヘッダーを付加します。セグメントは、トポロジまたはサービススペースの命令を表すことができます。SR では、SR ドメインの入力ノードでのみフローごとの状態を維持しながら、トポロジパスまたはサービスチェーンを介してフローを操作できます。この機能の場合、セグメントルーティングアーキテクチャは、MPLS データプレーンに直接適用されます。

セグメントルーティングをサポートするためには、BGP が BGP プレフィックスのセグメント ID (SID) をアドバタイズできなければなりません。BGP プレフィックスは常に SR または BGP ドメイン内でグローバルであり、命令を識別し、BGP によって計算された ECMP 対応のベストパスを介して、パケットを関連するプレフィックスに転送します。BGP プレフィックスは、BGP プレフィックスセグメントの識別子です。

SR ベースの出力ピアエンジニアリング (EPE) ソリューションにより、集中型 (SDN) コントローラは、ドメイン内の入力境界ルータまたはホストで任意の出力ピアポリシーをプログラムできます。

次の例では、3 つのルータすべてが iBGP を実行し、NRLI を相互にアドバタイズします。また、ルータはループバックをネクストホップとしてアドバタイズし、再帰的に解決します。これにより、図に示すように、ルータ間に ECMP が提供されます。

図 1: 出力ピア エンジニアリングの例



SDN コントローラは、そのピアおよび隣接のそれぞれについて、出力ルータ 1.1.1.1 からのセグメント ID を受信します。次に、出口ポイントをコントローラのルーティング ドメイン内の他のルータおよびホストにインテリジェントにアダプタイズできます。図に示すように、BGP ネットワーク層到達可能性情報 (NLRI) には、ルータ 1.1.1.1 へのノード SID と、7.7.7.7 へのトラフィックがリンク 12.1.1.1->12.1.1.3 を介して出力されることを示すピア隣接 SID 24003 の両方が含まれています。

# BGP 出力ピアエンジニアリングのガイドラインと制限事項

BGP 出力ピアエンジニアリングには、次のガイドラインと制限事項があります。

- BGP 出力ピアエンジニアリングは、IPv4 BGP ピアでのみサポートされています。IPv6 BGP ピアはサポートされていません。
- BGP 出力ピアエンジニアリングは、デフォルトの VPN ルーティングおよび転送 (VRF) インスタンスでのみサポートされます。
- 出力ピアエンジニアリング (EPE) ピアセットには、任意の数の EPG ピアを追加できます。ただし、インストールされている復元力のある CE ごとの FEC は 32 ピアに制限されています。
- 特定の BGP ネイバーは、単一のピアセットのメンバーにしかできません。ピアセットが構成されています。複数のピアセットはサポートされていません。オプションのピアセット名を指定して、ネイバーをピアセットに追加できます。対応する RPCFEC は、ピアセット内のすべてのピア間でトラフィックを負荷分散します。ピアセット名は、最長 63 文字の文字列です (64 NULL で終了)。この長さは、NX-OS ポリシー名の長さと同じです。ピアは、単一のピアセットのメンバーにしかできません。
- 特定のピアの隣接関係は、異なるピアセットに個別に割り当てることはできません。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降、BGP 出力ピアエンジニアリングは Cisco Nexus 9300-GX プラットフォーム スイッチでサポートされます。

## BGP を使用したネイバー出力ピアエンジニアリングの設定

RFC 7752 および draft-ietf-idr-bgppls-segment-routing-epe の導入により、出力園児に名リングを設定できます。この機能は、外部 BGP ネイバーに対してのみ有効であり、デフォルトでは設定されていません。出力エンジニアリングでは、RFC 7752 エンコーディングを使用します。

始める前に

- BGP を有効にする必要があります。
- リリース 7.0(3)I3(1) またはリリース 7.0(3)I4(1) からアップグレードした後、Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチで出力ピアエンジニアリング (EPE) を設定する前に、次のコマンドを使用して、TCAM リージョンを設定します。
  1. switch# **hardware access-list tcam region vpc-convergence 0**
  2. switch# **hardware access-list tcam region racl 0**

### 3. switch# hardware access-list tcam region mpls 256 double-wide

- 設定を保存して、スイッチをリロードします。

詳細については、Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Security Configuration Guide の「Using Templates to Configure ACL TCAM Region Sizes」および「Configuring ACL TCAM Region Sizes」のセクションを参照してください。

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します
ステップ 2	<b>router bgp</b> <bgp autonomous number>	自律ルータ BGP 番号を指定します。
ステップ 3	<b>neighbor</b> <IP address>	ネイバーの IP アドレスを設定します。
ステップ 4	<b>[no]default egress-engineering [peer-set peer-set-name]</b> 例： switch(config)# router bgp 1 switch(config-router)# neighbor 4.4.4.4 switch(config-router)# egress-engineering peer-set NewPeer	ピアノード SID がネイバーに割り当てられ、BGP リンク状態 (BGP-LS) アドレス ファミリー リンク NLRI のインスタンスでアドバタイズされるかどうかを指定します。ネイバーがマルチホップ ネイバーである場合、BGP-LS リンク NLRI インスタンスもネイバーへの等コストマルチパス (ECMP) パスごとにアドバタイズされます。これには、一意の Peer-Adj-SID が含まれます。  オプションで、ネイバーをピアセットに追加できます。ピアセット SID は、ピアノード SID と同じインスタンスの BGP-LS リンク NLRI でもアドバタイズされます。BGP リンクステート NLRI は、リンクステートアドレスファミリーが設定されているすべてのネイバーにアドバタイズされます。  EPE の詳細については、RFC 7752 および draft-ietf-idr-bgpls-segment-routing-epe-05 を参照してください。

## 出力ピアエンジニアリングの設定例

BGP スピーカー 1.1.1.1 の出力ピアエンジニアリングのサンプル設定を参照してください。ネイバー 20.20.20.20 は SDN コントローラであることに注意してください。

```
hostname epe-as-1
install feature-set mpls
feature-set mpls

feature telnet
feature bash-shell
feature scp-server
feature bgp
feature mpls segment-routing

segment-routing mpls
vlan 1

vrf context management
ip route 0.0.0.0/0 10.30.97.1
ip route 0.0.0.0/0 10.30.108.1

interface Ethernet1/1
no switchport
ip address 10.1.1.1/24
no shutdown

interface Ethernet1/2
no switchport
ip address 11.1.1.1/24
no shutdown

interface Ethernet1/3
no switchport
ip address 12.1.1.1/24
no shutdown

interface Ethernet1/4
no switchport
ip address 13.1.1.1/24
no shutdown

interface Ethernet1/5
no switchport
ip address 14.1.1.1/24
no shutdown

interface mgmt0
ip address dhcp
vrf member management

interface loopback1
ip address 1.1.1.1/32
line console

line vty
ip route 2.2.2.2/32 10.1.1.2
ip route 3.3.3.3/32 11.1.1.3
ip route 3.3.3.3/32 12.1.1.3
ip route 4.4.4.4/32 13.1.1.4
```

```
ip route 20.20.20.20/32 14.1.1.20

router bgp 1
  address-family ipv4 unicast
  address-family link-state
  neighbor 10.1.1.2
    remote-as 2
    address-family ipv4
    egress-engineering
  neighbor 3.3.3.3
    remote-as 3
    address-family ipv4
    update-source loopback1
    ebgp-multihop 2
    egress-engineering
  neighbor 4.4.4.4
    remote-as 4
    address-family ipv4
    update-source loopback1
    ebgp-multihop 2
    egress-engineering
  neighbor 20.20.20.20
    remote-as 1
    address-family link-state
    update-source loopback1
    ebgp-multihop 2
  neighbor 124.11.50.5
    bfs
    remote-as 6
    update-source port-channel50.11
    egress-engineering peer-set pset2 <<<<<<<
    address-family ipv4 unicast
  neighbor 124.11.101.2
    bfd
    remote-as 6
    update-source Vlan2401
    egress-engineering
    address-family ipv4 unicast
```

次に、**show bgp internal epe** コマンドの出力例を示します。

```
switch# show bgp internal epe
BGP Egress Peer Engineering (EPE) Information:
Link-State Server: Inactive
Link-State Client: Active
Configured EPE Peers: 26
Active EPE Peers: 3
EPE SID State:
RPC SID Peer or Set Assigned
ID Type Set Name ID Label Adj-Info, iod
1 Node 124.1.50.5 1 1600
2 Set pset1 2 1601
3 Node 6.6.6.6 3 1602
4 Node 124.11.50.5 4 1603
5 Set pset2 5 1604
6 Adj 6.6.6.6 6 1605 124.11.50.4->124.11.50.5/0x1600b031, 80
7 Adj 6.6.6.6 7 1606 124.1.50.4->124.1.50.5/0x16000031, 78
EPE Peer-Sets:
IPv4 Peer-Set: pset1, RPC-Set 2, Count 7, SID 1601
Peers: 124.11.116.2 124.11.111.2 124.11.106.2 124.11.101.2
124.11.49.5 124.1.50.5 124.1.49.5
IPv4 Peer-Set: pset2, RPC-Set 5, Count 5, SID 1604
Peers: 124.11.117.2 124.11.112.2 124.11.107.2 124.11.102.2
124.11.50.5
```

```
IPv4 Peer-Set: pset3, RPC-Set 0, Count 4, SID unspecified
Peers: 124.11.118.2 124.11.113.2 124.11.108.2 124.11.103.2
IPv4 Peer-Set: pset4, RPC-Set 0, Count 4, SID unspecified
Peers: 124.11.119.2 124.11.114.2 124.11.109.2 124.11.104.2
IPv4 Peer-Set: pset5, RPC-Set 0, Count 4, SID unspecified
Peers: 124.11.120.2 124.11.115.2 124.11.110.2 124.11.105.2
switch#
```

## BGP リンク ステート アドレス ファミリの設定

対応する SID をアドバタイズするコントローラを持つネイバーセッションに対し、BGP リンク ステート アドレス ファミリを設定することができます。この機能は、グローバル コンフィギュレーションモードおよびネイバーアドレスファミリ コンフィギュレーションモードで設定できます。

### 始める前に

BGP を有効にする必要があります。

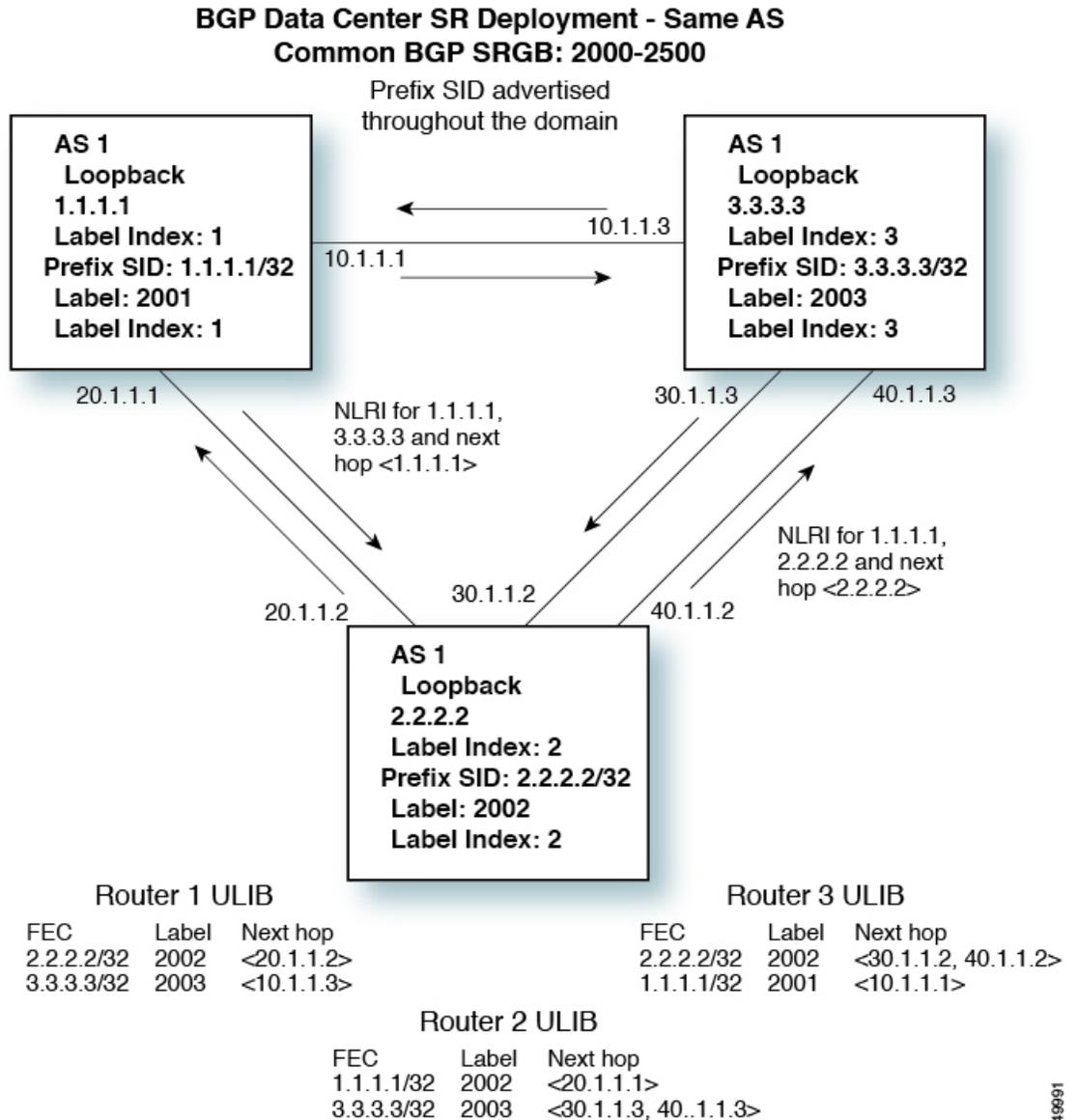
### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します
ステップ 2	<b>router bgp</b> <bgp autonomous number>	自律ルータ BGP 番号を指定します。
ステップ 3	<b>[no] address-family link-state</b> 例： switch(config)# router bgp 64497 switch (config-router af)# address-family link-state	アドレスファミリ インターフェイス コンフィギュレーションモードを開始します。  (注) このコマンドは、ネイバーアドレスファミリ コンフィギュレーションモードでも設定できます。
ステップ 4	<b>neighbor</b> <IP address>	ネイバーの IP アドレスを設定します。
ステップ 5	<b>[no] address-family link-state</b> 例： switch(config)#router bgp 1 switch(config-router)#address-family link-state switch(config-router)#neighbor 20.20.20.20 switch(config-router)#address-family link-state	アドレスファミリ インターフェイス コンフィギュレーションモードを開始します。  (注) このコマンドは、ネイバーアドレスファミリ コンフィギュレーションモードでも設定できます。

# BGP プレフィックス SID の展開例

以下の簡単な例では、3つのルーターすべてが iBGP を実行し、ネットワーク層到達可能性情報 (NLRI) を互いにアドバタイズしています。また、ルーターは、ルーター 2.2.2.2 と 3.3.3.3 の間に ECMP を提供するネクスト ホップとして、ループバック インターフェイスをアドバタイズしています。

図 2: BGP プレフィックス SID の簡単な例



346691



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。